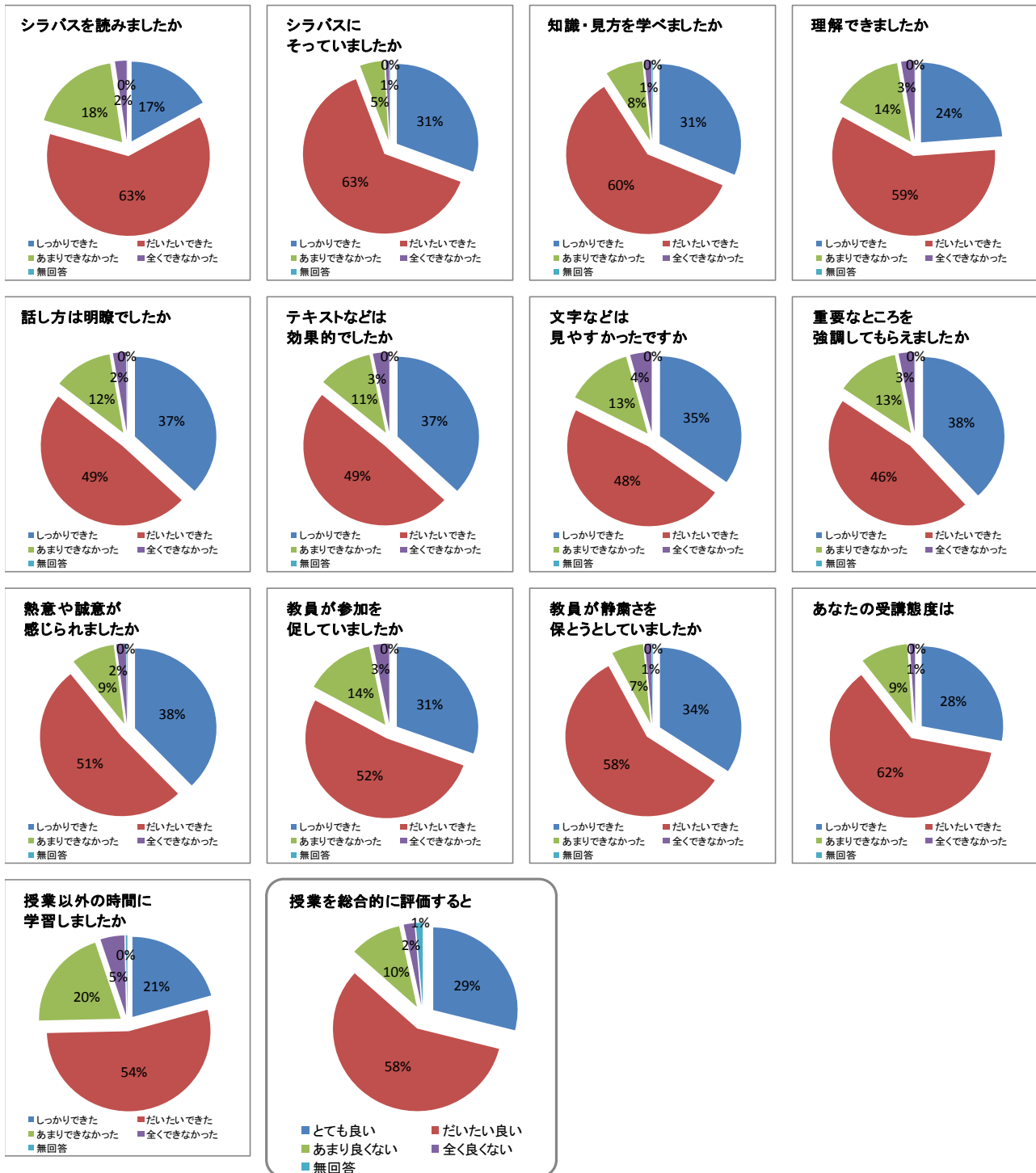


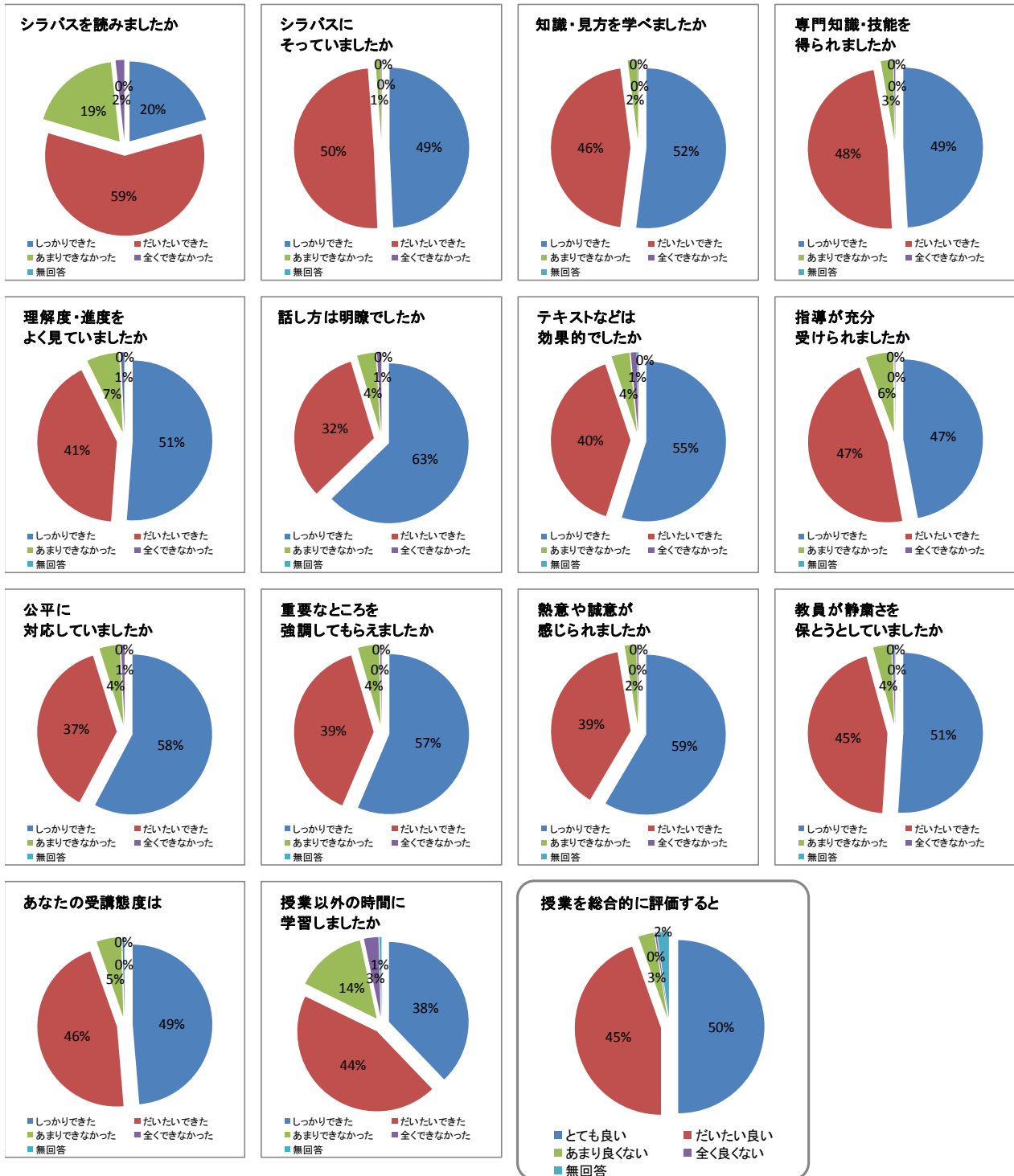
## 前期授業評価『学生から教員のみなさんへ』

平成 28 年度前期に全学科で、学生による授業評価を実施しました。その結果のまとめが次の図です。

### □講義系授業の結果



## □実技系授業の結果



### <結果からわかること>

#### 1. 総合的評価

総合的評価について、“とても良い”または“だいたい良い”と回答した人は、講義系 87%、実技系 95%となっており、講義系は昨年度より少し下がりましたが、ほとんどの授業は肯定的な評価を得ていました。

#### 2. 学生の自己評価

- ☞ 「受講態度」については、“しっかりできた”“だいたいできた”と回答した人は講義系で90%、実技系で98%と、昨年度以上に多くの方が肯定的に評価しました。学修成果の指標である「知識・見方」「専門的知識・技能」についても講義系で91%、実技系で97～98%の人が肯定的に評価しており、ほとんどの人が新しい知識や技能の習得を実感していました。講義系の「理解」を見ると、83%の人は授業内容を概ね理解できていますが、一部の人は理解が進んでいない様子もうかがわれました。
- ☞ 昨年度も課題であった講義系の“授業以外の学修”は、あまり伸びていませんでした。25%の人はあまり復習ができなかった様子です。今後も引き続き対策を考えていく必要があります。“シラバス”を読んだ人は少し増えて、講義系で80%、実技系で79%の人はシラバスの確認ができていたようです。気になる評価方法だけでなく、授業目標や到達指標、オフィスアワーの時間などにも目を通しておきましょう。

### 3. 教員に対する評価

- ☞ 講義系の教員の「話し方」「テキストの効果的使用」「文字の見やすさ」「重要なところの強調」という教授方法に関する項目は、83～86%と昨年度よりもやや下がったものの、多くの学生から肯定的評価を得ていました。実技系の教員も、「話し方」「テキストの効果的使用」「重要なところの強調」「十分な指導」「公平な対応」が94～96%と高評価を得ていました。
- ☞ 教員の「熱意や誠意」「静粛さを保つ」という学生への働きかけについては、講義系で89～92%、実技系で96～98%と多くの学生から肯定的評価を得ていました。本年度も多くの教員は、熱意をもって授業に望んでいる様子です。

## 前期授業評価『教員から学生のみなさんへ』

平成28年度前期授業評価に対する専任の教員（非常勤を除く）から学生のみなさんへの回答をまとめました。

### 【幼児教育学科】

#### ◆ 保育原理

##### ①授業評価に対するコメント

総合的に高評価を得られている点について次の二点が挙げられると考える。

第1に、最新の保育の現状と課題を意識的に取り上げた点である。28年度は、子ども・子育て支援新制度実施から一年経過した年度であり、その進捗状況を取り上げる必要がある。また、今年度進行している幼稚園教育要領や保育所保育指針などの改定状況もリアルタイムで取り上げる必要がある。こうした情報を授業に反映できたことが評価に反映されていると考える。

第2に、授業方法の工夫を行ったことである。前出の取り組みにおいては、インターネットをフル活用し、関係機関へのアクセスから最新の情報を提供することができた。また、動画や映像などを多用し、

できるだけ抽象的な事項を具体化して理解する工夫を行った。また、対話的で主体的な学びの実現のために、話し合い活動をできるだけ導入し、講義系科目におけるアクティブ・ラーニングの実践が評価にも反映されていると考える。

## ②今後の授業での目標

保育行政や現場では、加速度的変化が起こっている現状である。最新の情報を加えながら、現場の「今」と向き合える授業を今後も創造していきたい。また、単なる知識の獲得に終わることなく、自らが考える授業づくりを心がけたい。

## ③学生のみなさんへの要望

時間外の学修はなかなか難しい。一方で、授業で得た知識や理論をさらに深め、疑問や課題を解決することに、専門的学びの喜びと楽しさがあるはずである。時間外の学修時間は机に向かい、本を読みあさるイメージが強いかもしれない。それも一つではあるが、コーヒーを飲みながら、普段の生活の中で入ってくる情報（新聞・テレビ・インターネットなど）に触れた時、授業で学んだ内容とリンクさせ考えるだけでも立派な学修ではないだろうか。自分にぴったりの時間外の学びのスタイルを発見し、学ぶ喜びに気付いてほしいと願う。

# ◆ 障がい児保育Ⅱ

## ①授業評価に対するコメント

「障がい児保育Ⅱ」では、「障がい児保育Ⅰ」を受けて障がい児に対する具体的な保育での援助について学ぶ科目です。

講義を聞くだけの学習にならないように、受講者自らが課題をもち、その課題について調べたり考えたりできるよう、授業方法を工夫しました。

毎回の授業のテーマに沿って、受講者が自分の課題について事前に調べ、まとめ、発表するようにしました。一方、他の受講者の発表を聞き、その内容を整理し、必要であればコメントをするようにしました。また、援助の実際をイメージできるような具体的な話も補足解説として盛り込みました。その結果が今回の授業評価でのよい評価をいただくことにつながったのだと思います。

なお、自由記述からは授業構成の意図が伝わった印象を持ちました。受講生の皆さんが、科目内容に対しての興味・関心と授業に対する意欲とを持っておられたことが推察できました。担当者としてありがたいことです。

## ②今後の授業での目標

保育場面での援助について具体的にイメージしながら学修を進めていただけるように、保育実習などでの経験なども取り上げて、互いに交流、議論できるような工夫を考えていきたいと思います。

## ③学生のみなさんへの要望

関連する資料や書籍を少しでも読むように心がけて下さい。

また、ワークプリント（書き込み資料）の有無にかかわらず、今後も講義概要をノートするようにして下さい。

## ◆ 幼児の運動と遊び I

### ①授業評価に対するコメント

「保育者を念頭に」を常に意識し、時には「子どもになりきって」という展開の授業に対して学生の皆さんが素直に表現し受講していただいた結果だと思われま

す。自由時間の活用や授業ノートの作成等、学生同士の学びを大切に取り組んできた事が学生と教員というそれぞれの立場で良い関係性を築くことができたと感じています。また、授業展開の工夫など学生から気付かされる所もあり、とても感謝しています。ありがとうございました。

### ②今後の授業での目標

まずは「自分自身が楽しむこと」をねらいとし、自らが進んで行動できるように授業展開の更なる工夫をしていきたいと考えています。

また、学び舎の環境として、施設の老朽化が激しく授業に悪影響を及ぼす事態が増えてきました。この点では、学生の皆さんに多大な迷惑をかけていると思われま

### ③学生のみなさんへの要望

す。子どもは元気いっぱいな保育者が大好きです。あそびから運動へと繋がっていく事が子どもの心を動かします。自分の力を信じて、これからもさまざまな場面で自分の得意を活かした素敵な保育者になってください。

## ◆ 保育技術演習 I (読み聞かせ)

### ①授業評価に対するコメント

- ・保育現場を知る事や、実習につながる内容となるように心掛けたことが評価されたことが嬉しかった。
- ・読み聞かせの楽しさや大切さが伝わるように努力したことを理解していたことを感謝している。

### ②今後の授業での目標

- ・授業の流れや見通しを視覚的に掲示し、学生が興味を持って授業に主体的に取り組めるようにしていきたい。
- ・授業形態を講義と実演のよさを生かし、全員がよい緊張感をもった参加型のものになるように、シラパスやルーブリックを改善・活用し、授業方法を工夫していきたい。
- ・より保育技術のポイントをつかみ、学生同士が良い所を学び合う記録となるようなワークシートの改善を図りたい。

### ③学生のみなさんへの要望

- ・真面目に授業に取り組む姿勢は、大いに評価できる。読み聞かせを聞く時に、子どもの気持ちになって応答ができるとなお一層良い。

## 【デザイン美術学科】

### ◆ ネーム入門

#### ①授業評価に対するコメント

この授業を開始して今年度で3回目になる。この授業はストーリーマンガの設計図を作ることで、それを「ネーム」あるいは「絵コンテ」と、呼んだりする。入学したての学生に、いきなりオリジナルストーリーを作り上げるわけで、かなりの根気と忍耐を要する内容と言える。今回初めて授業評価の対象に選んだのは、その根気と忍耐を要する授業が、受講生たちにどう受け止められているのかを、私自身が知りたいと考えたからである。結果は概ね好評価だったと捉える事が出来た。実際殆どの受講生達は、難しい課題に前向きに取り組み、良い結果を出してくれた。

#### ②今後の授業での目標

上記の通り、まだ3回目なので、工夫の余地は、いくらか残されていると思う。今後、より受講生達のやる気を引き出せる方法を探り、試行していきたい。

#### ③学生のみなさんへの要望

この授業はマンガのストーリーを作る授業であるから、受講生は当然のごとく、マンガ、アニメ好きが多い。しかし、マンガやアニメを見て、マンガのストーリーを考えることは、決まった枠の中で頭を使っているということである。それでは「誰かに見てもらう」ための物語を構築する上で必要な、新鮮味や意外性と言った、人を引き付ける魅力に欠けることになる。創作をするための、見聞を広めることを意識して行ってほしい。

### ◆ 情報デザイン基礎

#### ①授業評価に対するコメント

<総合評価について><自己の取組に対する評価について><教員の取組に対する評価について>全項目において、おおむね及第点と言える評価となりました。

ただ、<自己の取組に対する評価>では、「学ぶ」「態度」に比べると、「知識や技能」において、点数がやや低い結果となりました。

「学ぶ」「態度」において、学生が頑張っている部分に対して、「知識や技能」の習得度合いをわかりやすく伝えることができていなかった結果かもしれません。[出来ているところ]、[伸びているところ]、そして[今後の課題]を学生と共有できるようにしていく必要性を感じています。

#### ②今後の授業での目標

授業のねらいをしっかりと伝えた上で、学生の行動から動機づけ支援を行う。

個々の到達度合いや今後の課題についてわかりやすく説明する。

#### ③学生のみなさんへの要望

情報社会では、問題解決能力を身に付けていく必要があります。

問題に対しては、「個別の案件対応」「暫定的処置」でしか対処できないことを意識し、PDCAを繰り返す有効性を理解する必要があります。

即ち、100%解決する対策は存在しないし、資源の有効活用すなわち最適分配が大切となります。

あるべき姿を見つめ、現状とのギャップにある問題と向き合い、有効な対策立案能力を日々の受講から身につけていけるように、一緒にがんばりましょう。

## ◆ マンガ基礎

### ①授業評価に対するコメント

評価の数値・グラフから読み取るに伝える側が意図した事は概ね生徒達に伝わっている様に感じた。

### ②今後の授業での目標

今回の結果を踏まえて生徒のモチベーションを下げる事の無い講義内容を心がけていきたい。

### ③学生のみなさんへの要望

真面目に取り組むべし。

## ◆ デジタルデザイン

### ①授業評価に対するコメント

評価の内容から全体的に積極性をもって受講できたことが伺われます。

illustrator というドローイング系ソフトを使用する為の基礎となる授業なので、自由記述欄に「楽しく、ためになる授業でした。これから活用していきたい」というコメントがあり安心しました。

### ②今後の授業での目標

技能の進捗には個人差がありますが、ひとりひとりの進捗を見ながら、楽しく学び、受講生が授業に積極的な姿勢で取り組めるような雰囲気作りを心掛けたいと思います。

ソフトの機能も常にアップデートされていきますので、教員側としても常に新しい機能や情報にアンテナを張り、指導できる様に努めていきたいと思います。

### ③学生のみなさんへの要望

基礎を学んでも使っていないと、どんどん忘れてしまいます。授業外の時間を有効に活用し、今以上に積極的にPCに触る時間を作って技能を向上させ、作品制作に活かして欲しいと思います。

## ◆ モデリング基礎

### ①授業評価に対するコメント

授業内容としては、個々への指導は十分できたように思う。

実技演習なので「明るく感じる」「うるさく感じる」など学生たち本人の受け方がまちまちだったようだ。

## ②今後の授業での目標

個々の学生への指導内容をしっかり把握し、きめ細やかな対応をこれからも心掛けていきたい。

## ③学生のみなさんへの要望

「何がしたい」「何が聞きたい」「何がわからない」など学生からの意思表示が少ないので、どんどん聞いてもらい、話し合えるような環境づくりをしていきたい。

## 【音楽総合学科】

### ◆ 音楽療法入門

#### ①授業評価の結果に対するコメント

総合評価では平均よりもやや良いという結果（全学平均3.2、担当科目3.4）であった。内容を細かく見ると、自己の理解、話し方、強調や熱意に関する点数が平均よりも高かったのに対して、シラバスや授業外の取り組み、雰囲気については平均と同じか、やや低かった。この授業は専門科目ではないため、受講生の意欲としては専門科目より欠ける部分があるのかもしれない。それが自分からシラバスを見たり授業外の取り組みをしたりという面に反映しているのかもしれない。

また、全学科の学生が多く集まる授業（52名）なため、私語など授業態度に対する注意を行わなければならないこともあり、そういったことが授業の雰囲気の点数の低さに表れているのかと感じた。

#### ②今後の授業における目標

学生の自由記述に、後ろからボードの字が見えにくかったとのコメントがあった。縦に長い教室なので後ろに着席した学生には見づらいこともあったと思う。今後は読みやすい字を心掛けるとともに、学生に「読めますか」と確認することも行う。

#### ③受講学生に対する要望

再試験の末に不合格を出さざるをえない学生が複数いた。全く話を聞いていないのに加えて、試験勉強をしていない様子が見えられた。水曜1限という、疲れる上に朝起きにくい授業だとは思いますが、受講するからには単位を取得する努力をしてほしい。

### ◆ ピアノ

#### ①授業評価の結果に対するコメント

個人対応の授業のため、学生一人ひとりと十分にコミュニケーションをとりながら授業を進めました。個人授業では、教員との話しやすい関係性や雰囲気が授業の進度、充足感に繋がることがあると思っています。授業評価からも概ね、教員と話しやすいと評価されており、そのことが学生の授業に



対する取り組みに繋がっているように感じます。また、個々の特徴をよく把握して一人ひとりに合った指導を心掛け、それぞれの技術が伸びるよう努めました。学生自身が、入学してからの自分の成長を感じてくれていることは嬉しく思います。どの学生も日頃から、技術や知識など新しいことを吸収したいという気持ちがよく表れており、意欲的に向上心を持って取り組んでくれました。また、自分に自信を持っていないような学生も見られましたが、技術向上の為のアドバイスをしながらもそれぞれの持つ長所を大切に、自信に繋げていける指導をより心掛けたいと思います。

## ②今後の授業における目標

演習系の授業なので、言葉だけでなく、もう少しお手本で弾きながらの指導もしてほしいとの指摘がありました。自身を振り返ってみると、楽器を使いながら授業はしていましたが、少し少なかったようにも思います。言葉からのイメージで伝わることも多いですが、やはりその場で音で表現することは、音色、息使い、体の使い方等々、学生もそれらを直接的に感じる事が出来、より伝わりやすく理解しやすいのだということを再認識しました。音で伝えることの大切さを再認識し、後期の授業では、より多く音で伝えていきたいと思います。

## ③受講学生に対する要望

前期に引き続き後期でも積極的に取り組んでほしいと思います。より話しやすい関係性づくりに努めますので、心を開いてのびのびと音楽に取り組むとともに、技術面の向上はもちろん、表現に対する自分の考えも持てるよう、音楽を追求して取り組んでほしいと思います。

## 【歯科衛生学科】

### ◆ 歯科衛生士概論

#### ①授業評価に対するコメント

今年も、昨年と同様に興味をもって学ぶために、DVD や簡単な体験も入れながら自分自身の口腔の健康に関心を持たせながら授業を進めていった。学生から総合評価としては、平均的評価だった。入学してすぐ歯科衛生士になるための心構えを伝える教科でもあるが、昨年より内容を少し増やしたことにより、授業にゆとりが少なかったためか、プリントの内容を書きとめる時間をもっと欲しい要望が改善した方がいい点にあった。また、パワーポイントの文字が後方の学生には、見えにくかったようで、文字やかき方の評価が低い原因になったと思われる。また、復習しやすいようにまとめプリントを配布したことは、分かりやすい評価であり、自己の取り組みに対する評価が平均より高かったと思われる。

#### ②今後の授業での目標

昨年も課題としていた配布資料をもう少し簡潔にし、まとめ易いものにもっと改善していきたい。また、内容を増やした結果、学生が考える時間とまとめる時間に余裕がなかったことから、内容を見直し、時間配分を考えていきたい。昨年と同様学生への質問やグループワークによる学習の導入を今以上に実施し、学生が主体的に学べるように工夫をしていきたい。

### ③学生のみなさんへの要望

パワーポイントの文字に頼らず、教科書も活用し、プリントに取り組むことも必要である。レポート課題をまとめるときには、専門用語、言葉の意味を少しずつ覚えながら、日々の学習で専門用語に慣れ、理解できるようになることで、学習意欲を高めて欲しい。

## ◆ 歯周病予防技術法Ⅲ

### ①授業評価に対するコメント

教員の取組に対する評価においては、まずまずの点数をいただけたと思う。この科目は、技術の修得を目標にしているが、細かな操作のため、段階を経て確実にできるようになるために、かなりの根気と努力が必要になる。そのために、分かりやすい資料、デモンストレーションでの提示の仕方、話し方には工夫をしたつもりなので、その点を評価してもらえたのは素直にうれしく思う。自由記述欄にあったように器具の操作上の注意点などを繰り返し行ったことで、理解し技術修得に到達できたと感じている。また、複数いる教員が協力して学生指導にあたっていることも、きめ細かな教育が行えた要因であると思う。

学生自己の取組に対しては、教員が感じているより、辛口の評価であると思う。点数以上に意欲的に取組んでいた学生は多くいたと思うが、相互実習などでは患者役を経験することで、自分に対する反省点も評価対象になっていると思う。

### ②今後の授業での目標

学生自身が積極的に授業に取り組んでいるという自覚を持てる授業展開を工夫したい。授業ごとの到達目標を明確にし、自己評価ができるよう課題の設定をしたい。また、授業時間内だけでは、実技（技術）の修得に十分な時間確保が困難であるため、時間外でも積極的に取り組めるよう促すことが必要だと考えている。

今後も学生個人の到達度にばらつきが出ないように、教員同士で綿密な打ち合わせと、学生への個別指導が必須だと感じている。

### ③学生のみなさんへの要望

この授業を受講するにあたっては、マネキンを使用しての実習と相互実習が交互に行われるため、欠席しないように体調管理が大切である。また、分からない点はそのままにせず、確実に修得するように授業時間外でも積極的に取組んでもらいたい。受講後は、せっかく身に付けた技術を臨床実習や社会に出てから発揮できるよう、維持する努力を続けてほしい。

## ◆ 口腔解剖学Ⅰ

### ①授業評価に対するコメント

本年度は多くの評価項目にて全学、学科の平均以上の評価を頂きました。しかしながら、「自己の取組に対する評価」では、シラバス、授業外の学習という点で若干低めの評価でありました。学生個々での取組み方の相違はあるかもしれませんが、授業開始前にシラバスの重要性を伝えるとともに再確認する必要があると感じました。また口腔解剖学は基礎科目であり、取りかかるのに若干億劫になりがちな教

科であることが、授業外での学習への取組みという点で低いのかと考えられましたが、それであるからこそ平素からの反復の学習が重要であることを伝える必要性を感じました。

また、「教員の取組に対する評価」では平均以上の評価をいただきました。特に重要項目の強調、話し方といった項目にて高い評価をいただきましたが、試験への出否のみならず、最終的には全てが重要になってくるということを伝えていきたいと考えております。また、資料の活用という点では大変骨の折れる作業でありましたが講義毎に資料を配布するように致しております。視覚的に捉えやすいように「動くスライド」を重視しているため、紙媒体にした場合若干見づらい部分もあるかもしれませんが、後で見返せるのでそれで良しとせず授業内でしっかり咀嚼して欲しいと思います。

## ②今後の授業での目標

最も重要なことは学習意欲の向上であります。単に覚えるのではなく、理解することが大切です。極力、対話を重視した双方向性の講義を心がけているつもりではありますが、まだまだ不足している部分も多いと考えます。そのためには、今まで以上に積極的にコミュニケーション取り、質問や発言をしやすい雰囲気作りを重要視していきたいと思っております。

またコメントの欄でも記載致しましたが、講義毎の資料の作成、配布は非常に労力を必要とします。しかしながら例年好評をいただいておりますので、来年度も継続して参りたいと考えております。さらには是非覚えておいていただきたい強調したい部分に関しては、より興味を持っていただけるように音声のバリエーションを増やしていきたいと考えております。

## ③学生のみなさんへの要望

自分自身のポテンシャルをもっともっと信じて欲しいと思っております。壁にあたっても一つ一つ解決していけば、必ず目標を達成できるようになります。ひいては自分自身が育ち、自己学習、自己解決できる力を育てていただきたいと思っております。その繰り返しにより本当の力が身についてくるものと考えます。

## ◆ 歯周病予防技術法 I

### ①授業評価の結果に対するコメント

今回の授業評価では、総合評価が全学・学科共に低い状態であった。特に「話し方」と「進度による指導」の評価が低かった。「話し方」については、全体に話すスピードが早い傾向があり、十分な理解ができないままに次に進むことが多かったとの記述が多かった。授業内で実技内容の説明・実習を繰り返す行うため、要点をさらに解りやすく説明し、効率よく実技を行えるようにしたい。

自由記述の中で、「授業と実習のペースが速いため、もっとゆっくり指導してほしい」との意見や、「休憩時間に次の実習準備を行うため、きちんと休憩する時間がほしい」「授業延長をしないようにしてほしい」との意見が複数見受けられた。授業・実習内容を時間内に終われるように時間配分を再考したい。

### ②今後の授業における目標

学生の理解度を確認しながら、授業を進めていきたい。そのために話すスピードについては要点を整理し、理解しやすい内容を考慮しペースダウンする。また休憩時間の確保や終了時間の厳守を目標としたい。それ以外に講義、実習内容を見直し、全員の席により多く回ることでじっくりと指導を受けて、技術向上を体感できるようにしていきたい。

### ③受講学生に対する要望

この授業は、歯周病の予防・治療の専門的技術である歯石除去法の技術を修得します。それぞれの修得状況は個々に異なりますので、できなかった訓練内容については、セルフトレーニングを行い、必要な技術水準をクリアすることを目指してください。

また、講義・実習中に聞き取りにくかったり、理解が不十分だと感じたら、学生同志で相談するのではなく、挙手をして教員に尋ねることが上達への近道です。授業外の時間を活用して積極的にフィードバックに取り組んでもらいたいと思います。

## ◆ 歯科診療補助実習 I

### ①授業評価の結果に対するコメント

前回の授業評価では、「話し方」と「公平性」の評価が学科評価より低かったため、特に注意を払い講義、実習を進めた。講義はゆっくりと話し、実習時は出来るだけ 51 名全員の机を回るようにした。今年度の評価は学科平均になりましたが、今後もより一層努力したい。

自由記述の中で気になったのが、「授業と実習のペースが速いのでゆっくり進めてほしい。」との意見や、「休憩時間が短くなることがあったので 10 分きちんとほしい」との意見が複数見受けられた。授業内容に対し少ない授業時間の中でしっかり講義、実習内容を構成し休憩時間がとれるようにしていきたい。予習をする事を前提に授業計画を立てているので、予習をしていない学生にとってはついていきにくい授業だったと思われる。学生個人のレディネスにどのように合わせて、実習を進めてゆくか考える必要がある。

### ②今後の授業における目標

休憩時間や終了時間の厳守を目標としたい。講義、実習内容を見直し、全体にペースダウンしていきたい。そして実習の目標や目的を明確に学生にしっかりと伝え、教員と学生との間での考え方や実習の方向性の違いを無くしていきたい。

### ③受講学生に対する要望

シラバスに記載してある内容を、事前に確認し予習、復習をして下さい。予習を怠ってしまうと講義と実習に対応できなくなります。掲示内容も確実に把握し忘れ物が無いようにしてください。

また実習の安全確保と実技内容の理解を深めるために、静粛な雰囲気を保つよう努めてください。講義、実習で聞き取りにくく分からないことがあれば、隣の学生と相談するのではなく、すぐに挙手をして質問して下さい。どうしてもわからないことがあれば、いつでも質問に応じますので、気軽に聴きにきてください。

## ◆ 歯科保健指導基礎

### ①授業評価の結果に対するコメント

【自由記述】良かったところで、「とてもわかりやすい」「実際に何度も練習して体で覚えてとてもよかった」とあるが、改善した方が良いところでは、「覚えるのが難しかった」「ついていくのが大変に

感じる」との意見があった。学生それぞれ感じ方は違うが、学生全体がわかるように努めていきたい。

「ブラッシングに対する意識が変わった」「自分の磨き方もみなおすことができた」とあり、実際に日常に活かしてくれていてうれしかった。

## ②今後の授業における目標

改善した方がよいところで、「5限目があるのでギリギリまでやらないでほしい」「着替えて5限目に行くのがギリギリになってしまう」とあった。はやく終わらせようとしていたが、そうするとコメントにもあったが、「授業の進むペースがはやい」「ついていくのが大変」となるので、一回の授業の内容を検討していく必要がある。

## ③受講学生に対する要望

時間通り行なうよう努めるが、素早く行動するようにしてほしい。

分からなければ、オフィスアワー等活用してほしい。

## 【看護学科】

### ◆ 看護概論

#### ①授業評価に対するコメント

1年次生が入学後最初に受ける科目ということもあり、前半では緊張している学生も多く見られたが、後半はグループワークなどでも積極的な意見交換も出来ていた。調べ学習も学生同士で協力し合い、成果ある発表に結び付けられたと評価している。欠席する学生もほとんど無く、意欲的に授業に取り組んでくれた。

#### ②今後の授業の目標

今後も学生の参加型授業を多く取り入れ、自ら学び学習する意欲を引き出していける授業に心がけたい。

#### ③学生のみなさんへの要望

- \* どの教科も意欲的に受講してほしい。
- \* 解からない事をそのままにしない。
- \* シラバスを参考に予習し終了後は必ず復習をする。

### ◆ 解剖生理学Ⅱ

#### ①授業評価に対するコメント

- ① 視覚的に興味をもてる授業を心がけた
- ② プリントにて要点を明確にした
- ③ 国試を意識した授業を心がけた

学生は①～③の意図を理解してくれた。

## ②今後の授業の目標

学生が授業の要点を理解しやすいように、さらに工夫した授業を心がけたい。

## ③学生のみなさんへの要望

看護師の国家資格を合格するためには、多くの医学用語に興味がわかenないと困る。そのためには、自主的な勉強意欲が必要です。

# ◆ 在宅看護概論

## ①授業評価に対するコメント

前年度に比べ、得点数が上がった。文字や重要な部分の強調をしてきた成果が出たと感じた。

また、毎回出席カード代わりに書いてもらう感想の中で、質問があったら必ず、次の時間に解答できるようにした。質問は、自分がいまいに話したり、急いで説明を飛ばした部分だけでなく、予想もしない視点からのもののあり、学生の視点の鋭さを感じた。今後も学生目線で分かりやすい授業を考えていきたいと思った。

## ②今後の授業の目標

昨年度も学生から、スライドの文字が小さいとか、下の方が分かりにくいと指摘されていた。文字に関してはできるだけ大きくは心がけていたが、印刷した資料が鮮明でないときもあって、スライドの理解を足さねばならない時は特に、問題であったと思う。また、教室の後ろの席の学生たちは、時々、立ち上がってスライドの下の方の文字を確認していた。今後は、スライド作成時に下部まで入力することがないように、キーワードを吟味してゆとりをもったスライドになるよう留意したいと思う。

## ③学生のみなさんへの要望

とくになし。

# ◆ 小児看護学概論

## ①授業評価の結果に対するコメント

学生が授業に参加し、適切に内容を吸収できるように取り組んできた。この取り組みに対する成果は、学生が評価する教員の取り組みに対する評価の点数から評価できると考える。しかし、学生が評価する自己の取り組みに対する評価では、シラバスおよび態度が全学および学科の点数より低かった。この学生自身の取り組みに対する評価の結果は、定期試験の点数に関係していると考えられる。学生が効果的に学修に取り組み、能力の向上につながる授業を心がけていきたい。

## ②今後の授業における目標

配布資料の正確さに心がけていきたい。

事前課題は、授業で活用できる内容および学生の学力向上につながるようにさらに強化していきたい。

### ③受講学生に対する要望

提示された課題や授業内容だけでなく、積極的な学修を探求してほしい。

## ◆ 母性看護援助論

### ①授業評価の結果に対するコメント

興味のある分野をわかりやすく学ぶことができたのでよかった。

とても覚えることが多いので大変です。必要なことだからしっかり覚えたいです。

覚えることも多く大変でした。先生も時間ない中大変だったと思います。後半だいぶ走ってました。

時々、もう少しゆっくり話してほしいときがありました。

プリントが見にくかった。等の評価を受けましたが、真摯に受けとめて、今後の授業に生かしたいと思います。

### ②今後の授業における目標

授業内容の見直しを行い、学生のレベルに合わせて内容の削減を行う。

### ③受講学生に対する要望

授業以外の話しをして、他の学生から苦情が出るようなことはやめてほしい。

事前課題は丁寧に行ってほしい。あまりにコピーの貼り付けが多い。あらかじめ、

「この講義内容は覚えることが非常に多い」と何度も伝えている。だからこそ課題を丁寧に行い、そのときに覚えるようにすれば、テスト前に一度に覚えようとしなくて済む。

## ◆ 精神看護援助論

### ①授業評価の結果に対するコメント

① 分かりやすい資料を用いるようこころがけた。

② 臨床での実際を講義の中に組み入れ、より理解が深まるようにした。

③ 精神看護学の国試内容を意識した授業を心がけた。

学生は①～③の意図を理解してくれた。

### ②今後の授業における目標

学生が授業内容を理解しやすいよう、要点をまとめた資料の作成に心がけたい。

### ③受講学生に対する要望

講義した内容を教科書で確認するような復習を行ってほしい。

精神看護学概論や精神看護援助論では、精神医学・心理学・教育学・看護学等の専門用語をしっかりと理解されていないと国試はもとより精神看護実習において不可欠であり、正確な理解を求めます。

## ◆ 成人看護援助論

### ①授業評価の結果に対するコメント

総合評価として全学、学科とも上回ることができ、標準以上の講義を提供することができたことが分かった。しかし、評価個々をみると、「シラバス」及び「参加」の評価が低い。シラバスに関しては、学生のレディネスを読み誤ったため、授業進行に若干の変更を加えたことによるものであると考える。意図的にグループワークや課題を課したものの、学生個々の取り組み温度の差を埋められなかったことが、学生に対し講義参加の実感を与えられなかったのだと考える。これは、教員評価に比して学生の評価が低いことから推測できることである。自由記述については、授業設計時のねらい通りのコメントがあり、今後の講義でも同様のコメントがもらえるよう努力したい。

### ②今後の授業における目標

評価の低かった「シラバス」については、もう一度、学生のレディネスを検討しなおし、適切なシラバスが作成できるように努力したい。全体の評価としては平均を上回ったが、更なる評価のアップを狙えるよう努力したい。

### ③受講学生に対する要望

事前課題を提示されなくとも講義内容の予習をして講義に望んで欲しい。与えられるのではなく自ら学ぼうとする姿勢が必要だと思う。

## ◆ 老年看護援助論

### ①授業評価の結果に対するコメント

わかりやすく、わからなかったところも理解できたという評価であり効果的な授業展開ができたと安心した。

### ②今後の授業における目標

授業時間数がもっと欲しかったとの意見から、限られた時間数の中でより理解しやすい授業方法を検討し、充実した内容を目指したい。

### ③受講学生に対する要望

授業に対する希望が出たときにはその場で意見を言ってもらいたい。

## ◆ 老年看護演習

### ①授業評価の結果に対するコメント

シラバスに沿った展開と事前学習の指示、課題の活用およびプライを意識して臨んだ。毎時のリアクションペーパーや課題レポートには各時間の目標とする内容の意見や感想がみられており、概ね学習課題は到達できたと考える。

資料やパワーポイントの作成については学生の使いやすいものに修正が必要である。

### ②今後の授業における目標

学生に使いやすい資料の作成



体験型学習を増やす取組み

i-pad と資料の双方の活用

### ③受講学生に対する要望

シラバスの確認と復習の実施を心がけてほしい

課外時間でも構わないので質問があれば受けるので積極的に臨んでほしい

## 【総合教育センター】

### ◆ 生活環境論

#### ①授業評価に対するコメント

教養科目ですので学生の皆さんに興味関心をどのように持ってもらうか、そして内容的な理解をどのように図っていくのかということを考えながら授業しています。特に担当しているのが講義科目でもあり、新しいことを知ったり、既知のことをつなぎ合わせながら考えることが中心となりますので、正直なところ難しさを感じながら授業を行っています。さらに5学科すべての学生の皆さんがいて、関心を強く持つ領域が異なると予想されますので、受講の様子を見ながら講義の進め方は毎年試行錯誤の積み重ねとなります。

あれこれ考えながら授業を進めていますが、授業評価を見ると、内容的な興味や関心を多くの学生の皆さんが持ってくれ、理解も深めてくれたことは成績評価とも一致しており喜ばしい限りですが、授業外での学びをさらに深めていけるように指導・支援していくことが大きな課題だと思いました。これまでの受講生の状況から、今年の授業ではレポートの書き方にかなり時間をかけましたが、それが間違いではなかったことが評価から改めて確かめられました。

#### ②今後の授業の目標

授業方法について、授業の位置づけや性格上なかなか難しいのですが、もう少し学生の皆さんの主体的な活動を取り入れていくよう工夫をしていきたいと思います。また、レポートの書き方についても、さらに具体的に詳しく指導・支援できるよう努めていきます。

さらに授業外の学修についても、学生の皆さんの状況を見ながら指導や支援に取り組んでいきます。

#### ③学生のみなさんへの要望

シラバスには目を通してください。今年度のこの授業では、全員にしっかりと話を聞いてもらい、考えてほしいところではおおむねしっかりと考えて、得手不得手はありながらも必要な発言もほぼしっかりとでき、担当教員のつまらない余談にしっかりとリアクションもしていただきましたので、シラバスを読むことだけです、要望は。

これからも 本学の教職員は  
学生のみなさんの学びをさらに深めるために  
よりよい授業づくりに努力していきます



アンケートにご協力いただきまして大変ありがとうございました。

本年度も、本学ではほとんどの学生が積極的な姿勢で授業に参加し、多くの教員が高評価を得ていました。本学の教員が学生からの声に耳を傾け、改善の努力を重ねている様子がうかがわれます。

全国の大学で、入学から卒業までの間に「学生が何を学んだか」が問われる昨今、今後も大垣女子短期大学ならではの持ち味を生かして、より質の高い教育を実践していきたいと思えます。



本年度から、総合評価が高かった教員を対象に顕彰が行われることになりました。  
前期は以下の授業を担当した3名の方が顕彰の対象になりました。

「幼児の運動と遊びⅠ」

「応用音楽Ⅰ」

「救急看護・災害看護」

